

人文社会科学研究科 博士後期課程 日本アジア文化専攻

養成人材

日本とアジアにかかわる人文学・社会科学諸研究分野の知見を修得し、自身の研究を通して得られたその応用力を活かし、問題把握・解決能力に優れた広い視野と総合的な判断力を備えた、日本とアジアの地域文化創成を担う人材の育成を教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

人文社会科学研究科（博士後期課程）では、博士前期課程の目的に加え、問題把握能力に優れ、広い視野と総合的な判断力を備え、新しい知を創造できる自立した研究者としての能力を有する高度専門職業人を育成するため、所定の教育課程を修め、専攻ごとに求める以下の能力を身につけた者に博士の学位を授与する。

〈日本アジア文化専攻〉

- (1) 日本とアジアにかかわる人文学・社会科学諸研究分野の知見
- (2) 自身の研究を通して得られたその応用力
- (3) (2)を活かした問題把握・解決能力
- (4) 広い視野と総合的な判断力

教育目標

- 1 人文社会科学に関わる広い知見を修得する
- 2 人文社会科学に関わる広い知見と、それを応用・総合する能力を修得する
- 3 課題設定・自己解決能力および独創的思考力を修得する

年次	科目	到達目標	教育目標 1	教育目標 2	教育目標 3
1, 2, 3	言語文化研究方法論	現代の様々な研究方法をふまえて、日本近現代文学の対象、課題について、研究をおこなうことができる。	◎		
1, 2, 3	歴史哲学文化研究方法論	中国近現代史に関する専門的な研究と発表を行う能力を身につける。	◎		
1, 2, 3	社会文化環境研究方法論	インタビュー資料・口述記録資料の特質を理解し、その有用性や問題点について報告や議論を行ない、アカデミックなレポートや論文のかたちで叙述することができる。	◎		
1, 2, 3	日本語研究特論Ⅰ	日本語研究を自立的に行う力を伸ばす。		◎	
1, 2, 3	日本語研究特論Ⅱ	日本語研究を自立的に行う力を伸ばす。		◎	
1, 2, 3	日本語研究特論Ⅲ	日本語研究を自立的に行う力を伸ばす。		◎	
1, 2, 3	日本語文法研究特論Ⅰ	日本語学・日本語教育の博士論文を書くために十分な日本語文法についての知識を、体系的に習得すること。		◎	
1, 2, 3	日本語文法研究特論Ⅱ	日本語学・日本語教育の博士論文を書くために十分な日本語文法についての知識を、体系的に習得すること。		◎	
1, 2, 3	日本語文法研究特論Ⅲ	日本語学・日本語教育の博士論文を書くために十分な日本語文法についての知識を、体系的に習得すること。		◎	
1, 2, 3	日本語教育研究特論Ⅰ	議論を通して、学会発表または学術誌投稿に向けて各自の研究内容を深めてゆく。		◎	
1, 2, 3	日本語教育研究特論Ⅱ	議論を通して、学会発表または学術誌投稿に向けて各自の研究内容を深めてゆく。		◎	
1, 2, 3	日本語教育研究特論Ⅲ	議論を通して、学会発表または学術誌投稿に向けて各自の研究内容を深めてゆく。		◎	
1, 2, 3	日本語音声教育研究特論Ⅰ	博士論文の執筆に必要な知識を得る		◎	
1, 2, 3	日本語音声教育研究特論Ⅱ	博士論文の執筆に必要な知識を得る		◎	
1, 2, 3	日本語音声教育研究特論Ⅲ	博士論文の執筆に必要な知識を得る		◎	
1, 2, 3	言語学研究特論Ⅰ	言語に関連する文献を読んで視野を広げるとともに、発表を通じて博士論文を書くのに必要な構想力・分析力・論証力を養う。		◎	
1, 2, 3	言語学研究特論Ⅱ	言語に関連する文献を読んで視野を広げるとともに、発表を通じて博士論文を書くのに必要な構想力・分析力・論証力を養う。		◎	
1, 2, 3	言語学研究特論Ⅲ	言語に関連する文献を読んで視野を広げるとともに、発表を通じて博士論文を書くのに必要な構想力・分析力・論証力を養う。		◎	
1, 2, 3	言語政策研究特論Ⅰ	学術誌・紀要への投稿、学会等における口頭発表に向けての論文・口頭発表原稿の作成。		◎	
1, 2, 3	言語政策研究特論Ⅱ	学術誌・紀要への投稿、学会等における口頭発表に向けての論文・口頭発表原稿の作成。		◎	
1, 2, 3	言語政策研究特論Ⅲ	学術誌・紀要への投稿、学会等における口頭発表に向けての論文・口頭発表原稿の作成。		◎	
1, 2, 3	日本近世文学研究特論Ⅰ	受講生が各自の文章分担を担当し、作品が反映する文学的典拠と歴史的事情について考察しながら注釈を加える。		◎	
1, 2, 3	日本近世文学研究特論Ⅱ	受講生が各自の文章分担を担当し、作品が反映する文学的典拠と歴史的事情について考察しながら注釈を加える。		◎	
1, 2, 3	日本近世文学研究特論Ⅲ	受講生が各自の文章分担を担当し、作品が反映する文学的典拠と歴史的事情について考察しながら注釈を加える。		◎	
1, 2, 3	日本近現代文学研究特論Ⅰ	現代の様々な研究方法をふまえて、おもに日本近現代文学の課題、作品について、研究発表をおこなうことができる。		◎	
1, 2, 3	日本近現代文学研究特論Ⅱ	現代の様々な研究方法をふまえて、おもに日本近現代文学の課題、作品について、研究発表をおこなうことができる。		◎	
1, 2, 3	日本近現代文学研究特論Ⅲ	現代の様々な研究方法をふまえて、おもに日本近現代文学の課題、作品について、研究発表をおこなうことができる。		◎	
1, 2, 3	中国現代文化研究特論Ⅰ	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。論文構成展開の参考にする。各自の専門領域に合わせて、研究方法を検討する。		◎	
1, 2, 3	中国現代文化研究特論Ⅱ	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。論文構成展開の参考にする。各自の専門領域に合わせて、研究方法を検討する。		◎	

1, 2, 3	中国現代文化研究特論Ⅲ	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。 論文構成展開の参考にする。 各自の専門領域に合わせて、研究方法を検討する。	◎			
1, 2, 3	編集文献学研究特論Ⅰ	日本文化と欧米文化の相違点を、編集文献学をめぐる議論を通して考える。	◎			
1, 2, 3	編集文献学研究特論Ⅱ	日本文化と欧米文化の相違点を、編集文献学をめぐる議論を通して考える。	◎			
1, 2, 3	編集文献学研究特論Ⅲ	日本文化と欧米文化の相違点を、編集文献学をめぐる議論を通して考える。	◎			
1, 2, 3	哲学哲学史研究特論Ⅰ	カント、ヘーゲルの政治哲学に関する正確な知識を得る。 ドイツの近代史をふまえたドイツ観念論哲学のより深い理解を追求する	◎			
1, 2, 3	哲学哲学史研究特論Ⅱ	・ドイツ観念論哲学について、時代背景（特に19世紀初頭の科学のありよう）を踏まえた深い理解を身につける。	◎			
1, 2, 3	哲学哲学史研究特論Ⅲ	・実存哲学の基本的な考え方が分かるようになる。 ・キリスト教についての理解が深まる。 ・喜劇性・悲劇性に対する実存哲学的な知見を得る。	◎			
1, 2, 3	日本政治思想史研究特論Ⅰ	日本近代史に関する知識を深め、研究方法を向上すること。	◎			
1, 2, 3	日本政治思想史研究特論Ⅱ	日本近代史に関する知識を深め、研究方法を向上すること。	◎			
1, 2, 3	日本政治思想史研究特論Ⅲ	日本近代史に関する知識を深め、研究方法を向上すること。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（古代・中世）Ⅰ	日本史（古代・中世）に関して高度な研究発表ができるようになる	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（古代・中世）Ⅱ	日本史（古代・中世）に関して高度な研究発表ができるようになる	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（古代・中世）Ⅲ	日本史（古代・中世）に関して高度な研究発表ができるようになる	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近世）Ⅰ	近年、日本近世史において議論されることの多い「本所論」について、具体的な事例を用いた研究報告を行い、学術誌に掲載される水準の論文（草稿）を完成させる。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近世）Ⅱ	近年、日本近世史において議論されることの多い「本所論」について、具体的な事例を用いた研究報告を行い、学術誌に掲載される水準の論文（草稿）を完成させる。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近世）Ⅲ	近年、日本近世史において議論されることの多い「本所論」について、具体的な事例を用いた研究報告を行い、学術誌に掲載される水準の論文（草稿）を完成させる。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近代）Ⅰ	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近代）Ⅱ	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。	◎			
1, 2, 3	日本歴史学研究特論（近代）Ⅲ	日本近代史に関する高度な研究発表が出来るようになる。	◎			
1, 2, 3	東アジア思想研究特論Ⅰ	韓国朝鮮思想文化研究の歴史および現況を把握し、その課題について考える。	◎			
1, 2, 3	東アジア思想研究特論Ⅱ	韓国朝鮮思想文化研究の歴史および現況を把握し、その課題について考える。	◎			
1, 2, 3	東アジア思想研究特論Ⅲ	韓国朝鮮思想文化研究の歴史および現況を把握し、その課題について考える。	◎			
1, 2, 3	東アジア歴史学研究特論Ⅰ	中国近現代史に関する専門的な研究と発表を行う能力を身につける。	◎			
1, 2, 3	東アジア歴史学研究特論Ⅱ	中国近現代史に関する専門的な研究と発表を行う能力を身につける。	◎			
1, 2, 3	東アジア歴史学研究特論Ⅲ	中国近現代史に関する専門的な研究と発表を行う能力を身につける。	◎			
1, 2, 3	東アジア考古学研究特論Ⅰ	欧米の研究を通読しながら、現在の遊牧民の考古学的研究の到達点を理解する	◎			
1, 2, 3	東アジア考古学研究特論Ⅱ	欧米の研究を通読しながら、現在の遊牧民の考古学的研究の到達点を理解する	◎			
1, 2, 3	東アジア考古学研究特論Ⅲ	中国近現代史に関する専門的な研究と発表を行う能力を身につける。	◎			
1, 2, 3	現代社会学研究特論Ⅰ	エスノメソドロジーと会話分析の分析能力	◎			
1, 2, 3	現代社会学研究特論Ⅱ	エスノメソドロジーと会話分析の分析能力	◎			
1, 2, 3	現代社会学研究特論Ⅲ	エスノメソドロジーと会話分析の分析能力	◎			
1, 2, 3	歴史社会学研究特論Ⅰ	この講義の目標は、歴史社会学に関する応用的な分析手法を身につけ、歴史的な視点から自らの研究を発展させる能力を身につけることです	◎			
1, 2, 3	歴史社会学研究特論Ⅱ	この講義の目標は、歴史社会学に関する応用的な分析手法を身につけ、歴史的な視点から自らの研究を発展させる能力を身につけることです	◎			
1, 2, 3	歴史社会学研究特論Ⅲ	この講義の目標は、歴史社会学に関する応用的な分析手法を身につけ、歴史的な視点から自らの社会学的研究を発展させる能力を身につけることです	◎			
1, 2, 3	Comparative Economic Development in Southeast Asia I	開発経済学に必要な知識を身につけると同時に、東南アジア諸国における開発の諸問題を経済学の観点から学び、その地域の社会・経済に関する知識を習得する。	◎			
1, 2, 3	Comparative Economic Development in Southeast Asia II	開発経済学に必要な知識を身につけると同時に、東南アジア諸国における開発の諸問題を経済学の観点から学び、その地域の社会・経済に関する知識を習得する。	◎			
1, 2, 3	Comparative Economic Development in Southeast Asia III	開発経済学に必要な知識を身につけると同時に、東南アジア諸国における開発の諸問題を経済学の観点から学び、その地域の社会・経済に関する知識を習得する。	◎			
1, 2, 3	開発・援助の比較政治経済研究特論Ⅰ	人文社会科学に関わる広い知見と、それを応用・総合する能力を修得する	◎			
1, 2, 3	開発・援助の比較政治経済研究特論Ⅱ	人文社会科学に関わる広い知見と、それを応用・総合する能力を修得する	◎			
1, 2, 3	開発・援助の比較政治経済研究特論Ⅲ	人文社会科学に関わる広い知見と、それを応用・総合する能力を修得する	◎			
1, 2, 3	地域文化政策研究特論Ⅰ	限られた時間の中で、テーマに関する英語文献の収集、内容の把握整理、報告レポートにまとめる能力を習得する。	◎			
1, 2, 3	地域文化政策研究特論Ⅱ	限られた時間の中で、テーマに関する英語文献の収集、内容の把握整理、報告レポートにまとめる能力を習得する。	◎			

1, 2, 3	地域文化政策研究特論Ⅲ	限られた時間の中で、テーマに関する英語文献の収集、内容の把握整理、報告レポートにまとめる能力を習得する。	◎			
1, 2, 3	文化遺産学研究特論Ⅰ	博士論文研究に資する文化遺産についての知識と理論を修得する。	◎			
1, 2, 3	文化遺産学研究特論Ⅱ	博士論文研究に資する文化遺産についての知識と理論を修得する。	◎			
1, 2, 3	文化遺産学研究特論Ⅲ	博士論文研究に資する文化遺産についての知識と理論を修得する。	◎			
1, 2, 3	環境人類学研究特論Ⅰ	環境に関する文化人類学的分析方法を理解する。	◎			
1, 2, 3	環境人類学研究特論Ⅱ	環境に関する文化人類学的分析方法を理解する。	◎			
1, 2, 3	環境人類学研究特論Ⅲ	環境に関する文化人類学的分析方法を理解する。	◎			
1, 2, 3	アートマネジメント研究特論Ⅰ	博士論文のための、一部論文を執筆する。	◎			
1, 2, 3	アートマネジメント研究特論Ⅱ	博士論文のための、一部論文を執筆する。	◎			
1, 2, 3	アートマネジメント研究特論Ⅲ	博士論文のための、一部論文を執筆する。	◎			
1, 2, 3	文化資源学研究特論Ⅰ	古代思想や非西洋の思想、非主流派の現代思想のなかに登場する芸術に関連する言説を参照し、現代アートの見方を重層化する方向を探るとともに、その問題点や可能性について考える。	◎			
1, 2, 3	文化資源学研究特論Ⅱ	古代思想や非西洋の思想、非主流派の現代思想のなかに登場する芸術に関連する言説を参照し、現代アートの見方を重層化する方向を探るとともに、その問題点や可能性について考える。	◎			
1, 2, 3	文化資源学研究特論Ⅲ	古代思想や非西洋の思想、非主流派の現代思想のなかに登場する芸術に関連する言説を参照し、現代アートの見方を重層化する方向を探るとともに、その問題点や可能性について考える。	◎			
1, 2, 3	Research Topics in Media and Visual Communication Studies I	Guiding doctorate students in media and visual communication studies related to Japan, the Asia-Pacific and Australia. This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing guest lectures. Due to the current pandemic situation, this course is offered as online course.	◎			
1, 2, 3	Research Topics in Media and Visual Communication Studies II	Guiding doctorate students in media and visual communication studies related to Japan, the Asia-Pacific and Australia. This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing guest lectures. Due to the current pandemic situation, this course is offered as online course.	◎			
1, 2, 3	Research Topics in Media and Visual Communication Studies III	Guiding doctorate students in media and visual communication studies related to Japan, the Asia-Pacific and Australia. This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing guest lectures. Due to the current pandemic situation, this course is offered as online course.	◎			
1, 2, 3	国際日本アジア文化研究特論	人文社会科学に関わる広い知見と、それを応用・総合する能力を修得する	◎			
1	特別演習Ⅰ	博士論文執筆に必要な能力を修得する			◎	
2	特別演習Ⅱ	博士論文執筆に必要な能力を修得する			◎	
3	特別演習Ⅲ	博士論文執筆に必要な能力を修得する			◎	